

令和3年度 長崎県立大村工業高等学校 自己評価表(職員)

学校教育目標	教育基本法に基づき、本県教育の振興のための施策である第三期長崎県教育振興基本計画の理念のもと、本県教育が
学校経営方針	「一意専心(いちいせんしん)～それぞれの未来のために～」
前年度の	前年度は前期学校評価をもとに分掌・学科・学年の組織評価をして本年の組織目標に反映させた。全職員の総意のもと
本年度重点	(1) 学習や部活動等の様々な場面において、取り組む気持ちを一点に集中させ、物事を深く考え、粘り強く努力し、完遂する
※次の4～1の評価に基づき、Webアンケートに入力してください。	

評価項目	具体項目	目標	具体的方策	評価	R3後期	R3前期	R2後期	R2前期	R1後期	R1前期		
1 組織運営 教育活動の円滑化、教師集団の協調性に関わる教育的成果の評価												
校務分掌	組織的な活動と運営	分掌内規の再検討と各分掌間の連携を図る。	各分掌内規の見直しを図る。	(1)	3.0	3.0	2.9	3.0	3.0	3.0		
			各分掌間の連携・連絡を密にする。	(2)	3.0	3.0	2.9	3.0	3.0	3.0		
2 学校経営 全職員が共通の理念にたつた教育的成果の評価												
学校経営	職員意識の向上	全職員がチームとして、互いに協力・補佐し、生徒の規範意識の向上に努める。	正副担任・顧問・教科担任等全職員が連携を強め、生徒のしつけ、問題行動の予防、規範意識の向上を図る。	(3)	3.1	3.1	3.0	3.0	3.0	3.1		
			一人で抱え込まない、悩まない協力体制を築き、お互いを補佐する気持ちを持つ。	(4)	3.1	3.1	2.9	2.9	2.9	3.1		
	1学年経営	基本的な生活習慣を確立させ、大村工業生としての自覚を持たせる。	自分の状態を把握し、考えて行動できる力を身につけさせる。	(5)	3.0	3.0	2.8	2.8	3.1	3.1		
			正しい整髪服装、フンストップ挨拶を定着させる。	(6)	2.8	2.8	2.8	2.8	3.0	3.0		
			学習活動、各種行事等に熱意を持った態度で取り組むよう促す。	(7)	3.0	3.1	2.9	2.9	3.1	3.0		
			真剣に授業に参加する態度を定着させ、基礎学力の向上を図る。	(8)	3.0	3.0	2.9	2.8	2.9	3.0		
			学習に主体的に取り組む態度を育て、進路について自ら考えさせる。	(9)	3.1	3.1	3.0	3.0	3.2	3.1		
			各種資格取得に本気で取り組ませ、達成感、充実感を持たせることで、専門学科への興味・関心を深めさせる。	(10)	3.0	2.9	2.9	2.9	3.1	3.1		
	2学年経営	中堅学年としての自覚を持ち、主体的な学校生活を送らせる。	フンストップ挨拶を心がけさせ、健康的で規則正しい生活を送らせる。	(11)	2.8	2.9	2.8	2.8	3.0	3.0		
			学習と部活動の両立を実現させる。	(12)	2.9	2.9	2.9	2.8	3.0	3.0		
			行事や特別活動などに、積極的に取り組ませる。	(13)	3.1	3.2	3.1	3.1	3.2	3.1		
			校歌、第二応援歌をしっかりと歌うことで愛校心を育む。	(14)	2.5	2.6	2.6	2.6	2.9	2.8		
			授業や家庭学習などに対して主体的に取り組む態度を育む。	(15)	2.9	3.0	2.8	2.8	2.9	2.9		
			資格取得・検定試験に意欲的に取り組ませる。	(16)	3.2	3.2	3.1	3.0	3.1	3.2		
	3学年経営	進路について深く考えさせ、進路実現に対しての意識付けを図る。	大人としての礼儀やマナーを習得させ、社会人になるための心構えを持たせる。	(17)	3.0	3.0	2.9	2.8	3.0	3.0		
進路ガイダンスやインターンシップを通して、自身の進路を確立させる。			(18)	3.1	3.1	3.0	3.0	3.1	3.1			
生徒、保護者、学校で、企業や大学・専門学校等の情報を共有し、納得できる進路指導を目指す。			(19)	3.2	3.2	3.1	3.2	3.2	3.1			
社会人としての態度や常識を身につけさせ、社会性豊かな生徒を育てる。			(20)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0			
行事や特別活動などに、積極的に取り組ませる。			(21)	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.2			
授業への取り組み方など、主体的に行動できるように指導する。			(22)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.1			
学級経営	学級目標の設定	自ら学ぶ姿勢を身につけさせる。	各種の資格試験及び検定試験等に意欲的に取り組み、多くの資格を有して卒業させる。	(23)	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.2		
		大村工業高校を支える自覚と行動を促し、社会に貢献する姿勢を身につけさせる。	身だしなみ、挨拶、行動など大村工業生としてのプライドを心がけて行動をさせる。	(24)	2.9	3.1	3.0	3.0	3.1	3.1		
		自分に与えられた役割に責任を持ち、他者を尊重して行動できるように指導する。	定期的に進路指導を実施し、互いの指導力の向上に努める。	(25)	3.0	3.0	3.1	3.0	3.1	3.0		
		各学級目標を設定し、その実現に努める。	(26)	3.1	3.1	3.0	3.0	3.1	3.0			
		3 教育活動 教育活動全般における計画的・組織的な教育的成果の評価										
		教育課程の編成	教育課程の編成	本校の実態に即した、特色ある教育課程を編成する。	新学習指導要領の趣旨に則する教育課程の編成を行うとともに、生徒の多種多様な進路実現に向けた教育課程の編成を検討する。	(27)	3.0	3.1	3.1	3.1	3.1	3.0
				基礎学力の向上	基礎・基本を大切に丁寧な授業に努める。	(28)	3.0	3.2	3.0	3.0	3.1	3.0
学習意欲の向上	わかる授業の展開。			家庭学習の確保に取り組み、基礎学力の定着を図る。	(29)	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.5	
適切な学習評価	評価基準の設定に努める。			周到に準備された教材と板書による充実した授業に努める。	(30)	3.1	3.1	3.0	3.0	3.1	3.0	
教科指導	指導力の向上	研究授業などの定着と充実。	定期的な疑問・質問にも丁寧な対応をし、成績不振者には早めに対策を行う。	(31)	3.1	3.1	3.1	3.0	3.1	3.1		
		適切な学習評価	評価項目や基準を適切に設定し、生徒に認識させる。	(32)	3.0	3.1	3.0	3.0	3.1	3.1		
		指導力の向上	研究授業などの定着と充実。	個々の生徒の能力・努力が適切に評価されるように努める。	(33)	3.2	3.1	3.1	3.1	3.2	3.1	
生徒指導	社会規範意識の涵養	生徒の自主性をのばし、規律ある生活態度が樹立できるように積極的に指導する。	定期的な疑問・質問にも丁寧な対応をし、成績不振者には早めに対策を行う。	(34)	2.9	2.9	2.9	2.8	2.8	2.8		
		自らを集団の一員として自覚し、規範意識の向上に努めさせる。	授業や部活動等において、全職員で生徒指導に取り組む。	(35)	3.0	3.0	2.9	2.9	3.0	3.1		
進路指導	適切な進路指導	多種多様な希望の進路実現を目指す。	諸規則違反はLHRや生徒会活動の中で集団の問題としてとらえさせ、一人ひとりが自分のこととして考えることによって自らの力で解決させるように働きかける。	(36)	3.0	3.0	2.9	2.9	3.1	2.9		
		特別活動	進路情報を積極的に提示し、学年ごとに適した進路指導とガイダンスを推進する。	(37)	3.1	3.2	3.1	3.1	3.2	3.1		
		特別活動	就職・進学内定率100%を目指す。	(38)	3.4	3.2	3.3	3.2	3.3	3.2		
		特別活動	実践的工業人育成のため、資格取得、インターンシップ、ものづくり教育の推進に努める。	(39)	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.2		
特別活動	部活動	効果的な行事の工夫をする。	授業時数の確保も考慮に入れた、行事の精選を図る。	(40)	2.9	3.0	2.9	2.9	2.7	2.8		
		部活動	体育祭(や工業祭)などの行事では、自主性を尊重し、工業高校の特性を生かせるよう計画する。	(41)	3.3	3.2	3.1	3.1	3.2	3.2		
		部活動	部活動の活性化を目指す。	顧問間で連携し、目標に向かって積極的に活動する。	(42)	3.2	3.2	3.1	3.1	3.2	3.3	
4 教育環境 学校の置かれている条件や環境に関わる教育的成果の評価												
環境整備	明るい学校環境の整備	公共心を育成する。	毎日の清掃の徹底と公共物を大切にすることを育て、気持ちのよい環境にする。	(43)	2.9	2.9	2.9	2.8	3.1	3.0		
		環境教育の推進	教育に必要な施設、設備を整える。	(44)	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0		
		情報インフラの設備・充実	省エネ・省資源を推進する。	紙・水道・電気の使用量の節減に努め、リサイクル運動の推進を図る。	(45)	2.9	2.8	2.8	2.8	2.8	2.8	
情報インフラの設備・充実	教育活動全般の情報化	学校便りやホームページを充実させる。	HPCの更新を定期的に行い、進路だより等充実させ、学校の情報を積極的に発信する。	(46)	3.1	3.1	3.1	3.1	2.9	3.0		
		校内LANの利用を促進する。	進路情報を教室で検索できるようにする。	(47)	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	3.0		
		文書の電子化を促進し、業務の効率化を目指す。	(48)	3.0	3.1	2.9	2.8	3.0	3.0			
		5 開かれた学校づくり 保護者や地域等との連携における教育的成果の評価										
開かれた学校	保護者との連携	協力体制を確立する。	保護者との連絡を密にし、生徒・保護者の悩みや相談に丁寧な対応をする。	(49)	3.2	3.2	3.1	3.1	3.2	3.2		
		地域の人々や関係機関との連携	公開講座を開催する。	(50)	2.5	2.7	2.6	2.5	2.8	2.8		
		地域との連携を推進する。	中高連携事業や広報活動を推進する。	(51)	3.1	3.1	3.1	3.0	3.2	3.1		
		ボランティア・奉仕活動に取り組む。	(52)	2.6	2.7	2.7	2.7	2.7	2.8			
6 生徒の教育成果 学校教育の主たる知・徳・体の三分野からその学校の教育活動全般を通して生徒の教育的成果の評価												
豊かな人間性	力のある心	ルールを守り、困難に打ち勝つ大きな心を持っている。	ルールを守り、困難に打ち勝つ大きな心を持っている。	(53)	2.9	2.9	2.8	2.8	3.0	3.0		
		相手の気持ちになって行動できている。	(54)	3.0	2.9	2.8	2.8	2.9	2.9			
		基礎基本の定着	自らの学習目標を設定している。	(55)	2.8	2.8	2.7	2.7	2.7	2.8		
		定着・向上	真剣な態度で学習に取り組んでいる。	(56)	2.9	2.8	2.8	2.8	2.9	2.9		
		健康・体力	自ら健康管理に努め、清潔安全と健康に配慮している。	(57)	3.1	3.1	3.0	3.0	3.1	3.2		
		体力の向上	健全な生活習慣に努め、基礎体力の向上に努めている。	(58)	3.1	3.2	3.1	3.1	3.1	3.2		